

東京音楽大学附属民族音楽研究所刊行物リポジトリ

Title	ゲオルゲ・ザンフィルの弟子達による国際パンフルートマスタークラスに関する報告
Title in another language	Report of International Panflute Master Class by Gheorghe Zamfir Students
Author(s)	櫻岡 史子 (SAKURAOKA Fumiko)
Citation	伝統と創造=Dento to Sozo, Vol. 9, p. 35-40
Date of issue	2020-03-27
ISSN & ISSN-L	Print edition: ISSN 2189-2350, Online edition: ISSN 2189-2482, ISSN-L 2189-2350
URL	http://www.minken1975.com/publication/IE_B09201904.pdf

ゲオルゲ・ザンフィルの弟子達による 国際パンフルートマスタークラスに関する報告

Report of International Panflute Master Class by Gheorghe Zamfir Students

櫻岡史子 SAKURAOKA Fumiko

2016年より毎年夏に、ルーマニアのシビウ市アストラ民族博物館において、パンフルート¹の巨匠ゲオルゲ・ザンフィルの弟子達による国際パンフルートマスタークラスが開催されている。2019年には7月28日から8月3日にかけて7日間行われ、マスタークラスの最終日には、アストラ民族博物館にてパンフルート演奏会が開催された。ルーマニア、スイス、オランダ、ギリシャ、チェコ、ポーランド、ヨルダン、日本など8カ国から30名が参加した。この報告は、筆者が2017年、2019年に実際にマスタークラスに参加し、現地で見聞きし体験したことを記録したものである。

キーワード：パンフルート Pan flute、パンフルート奏者 Pan flutiest、ナイ Nai、
ルーマニア Romania、ゲオルゲ・ザンフィル Gheorghe Zamfir

1. はじめに

東京音楽大学附属民族音楽研究所では、2019年より日本で初めて大学での社会人向けパンフルート講座が開講された。また同年、ルーマニア大使館公認日本ルーマニアパンフルート協会が設立された。2018年より、日本パンフルートフェスティバルが開催され、ルーマニアを始め、世界各国からパンフルート奏者が来日し、コンサートを開催するなど、国内での関心が高まってきている。

国際パンフルートマスタークラスは、パンフルートの巨匠ゲオルゲ・ザンフィルのユニークな技法とザンフィルの弟子達の専門的で高度な技術を共有することを目的としている。パンフルートを演奏する技術の研究と開発のためのプロジェクトであり、ルーマニア国際青年協会が運営している。2019年には、ルーマニア人学生向けに、政府からの助成金が得られるオンラインコンテストが開催されるなど、教育活動が進んでいる。

授業は、英語、ルーマニア語、ドイツ語、フランス語、チェコ語、オランダ語の6ヶ国語で受講することが可能である。クラスは、初級、中級、上級、プロフェッショナルの4レベルに分かれており、個別レッスンではなく、グループで行われる。マスタークラス7日間のうち、3日間は、シビウ市内のレストランにおいて、ライブバンドと一緒に演奏する機会もある。また、最終コンサートに上位5名の学生が出演する機会が与えられる。

イベントの終わりに、選ばれた1名の学生に新しいパンフルートとパンフルートケースが贈呈される。

2. パンフルートのレッスン内容

国際パンフルートマスタークラスの講師は、ブカレスト国立音楽大学のゲオルグ・ザンフィルクラスの卒業生と彼らが選んだ他の講師である。講師によるレッスンは、7月29日（月）から8月2日（金）までの5日間、ルーマニアのシビウ市アストラ民族博物館にて、演奏5クラス、舞踏1クラス計6クラスのレッスンが、毎日行われ、1回のレッスンは50分間である。一例として、10年以上のパンフルート経験者クラスのレッスンを紹介する。

クラス例 1

講師：ルクサンドラ ピチュリチェ Ruxandra Pitulice

内容：ルーマニア民謡 Romanian folklore

言語：英語、ルーマニア語

- 課題曲：①《Azi in sat e nunta mare》（今日は、村の大きな結婚式）
②《Din repertoriul lui Fania Luca》（ファニカ ルカのレパートリーから）
③《ARDEAL》（トランシルヴァニア：ルーマニア中部に広がる地域）
④《OAS》（オアシシュ：ウクライナ国境近くルーマニア北西部にある町）
⑤《BADE, DE DRAGOSTEA NOASTRA》（愛の魂）

参加人数：4名

【内容】

このクラスの演奏曲は伝統的なルーマニア民謡である。地域によりリズムが異なる民謡を練習したが、曲のリズムを掴むために歌う練習を行った。歌うことによりリズムを感覚で覚えることができる。

ルーマニアの伝統的なパンフルートはト長調の管で、ファに井が付いている。井やbは半音操作を行う必要があり、半音操作の練習が繰り返し行われた。特に半音操作後、次の音を吹く際に、音程に注意するように指導がある。パンフルートの音程は、蜜蝋の量で調



ルクサンドラ ピチュリチェ クラスレッスン風景 [左:筆者撮影、右:マスタークラス公式カメラマン撮影]

律するが、楽器により口の形が異なる。口の周りの筋肉や顎を動かす、吹く息の速度の強弱、管へ吹く息を当てる位置により微妙な調整が可能である。

クラス例 2

講師：ギョルゲリザ Gheorghe Rizea

内容：ルーマニア民謡、ルーマニア舞曲 Romanian Folklore

言語：英語、ドイツ語、ルーマニア語

課題曲：①《MUNTILOR CU BRAZI IMALTI》(高い木と山)

②《Din repertoriul lui Fanica Luca》(ファニカ ルカのレパートリーから)

③《Azi in sat e nunta mare》(今日は、村の大きな結婚式)

参加者 4 名

【内容】

このクラスの演奏曲はルーマニアの伝統的な民謡と舞曲である。パンフルート奏法には様々なビブラートがあるが、パンフルートのビブラートには一般的に左手を使用する。

ルーマニア民謡や舞曲には、「ルーマニアンスタイル」と呼ばれる独特で伝統的なビブラート奏法がある。楽器を持った状態で、左前腕から左手を前に2回すばやく動かし、元のポジションに戻す奏法である。ドアをノックするイメージで動作を行うと良いとの話があり、繰り返し練習を続けることで参加者全員習得することができた。具体例を挙げることで理解が深まり習得が早かった。

クラス例 3

講師：ラドゥ ネキフォル Radu Nechifor

内容：パンフルート奏法 Pan flute technique

言語：英語、ドイツ語、ルーマニア語

【内容】

このクラスでは、講師のパンフルートレッスンの経験者が奏法を学んだ。呼吸法や音階練習を中心に授業が行われた。

音階を答え、指示された調を吹く練習を行い、3度飛びの練習、自然短音階、和声的短音階、施律的短音階を練習した。音を出す前に、何の音を出すかを、理解してから吹くことや、速いスピードで吹くのではなく、ゆっくり丁寧に正しい音を出すことが極めて重要である。



ラドゥ ネキフォル クラスレッスン風景 [筆者撮影]

クラス例 4

講師：レッケル ロキツア Liselotte Rokyta

内容：クラシック Classical music

言語：英語、ドイツ語、チェコ語、オランダ語

課題曲：①《Dansuri populare românești》(ルーマニア民族舞曲 (B、バルトーク))

②《Bourrée》(ブーレ HWV 363b ト長調 (G、ヘンデル))

参加者：4名

【内容】

このクラスの演奏曲は、クラシックである。レッスンの最初に、曲の背景について説明がある。曲の理解を深めることが非常に大切である。パンフルートでクラシック曲を演奏する時には、タンギングを用いる。タンギングにも種類があるが、楽譜にタンギングの記号がない場合、音を明瞭にするため、「ライトタンギング」奏法を用いて演奏する。跳躍は、ゆっくり繰り返し、少しずつスピードを上げて練習する。

クラス例 5

講師：ミハイ アレクサンドル Mihai Alexandru

内容：ルーマニア民族舞踊 Romanian folklore dances

【内容】

このクラスは、ルーマニアの伝統的な民族舞踊を学ぶレッスンである。授業では「ホラ horă」を踊った。

ホラは、ルーマニアの伝統的な民族舞踊であり、農村地域で大切にされ、結婚式やお祝いのお祭りで踊られる。現地では、よくパンフルートで演奏される曲で、手をつなぎ円周上を回りながら踊る。



ミハイ アレクサンドル クラスレッスン風景 [左:筆者撮影、右:マスタークラス公式カメラマン撮影]

3. パンフルートコンサート

レッスン最終日には、パンフルートコンサートが開催され、講師達による演奏と、選ばれた上位5名がコンサートに出演した。多くのルーマニア人の観客が訪れ、屋外のコンサートは満席となった。コンサート終了後に、パンフルートマスタークラス修了生に、ディプロマが授与された。



パンフルートコンサートの様子 [筆者撮影]



アストラ民族博物館 [筆者撮影]

注：

- 1 楽器名「パンフルート」は日本ではよく知られているが、正確にはルーマニアン・ナイ Romanian nai と呼ぶべき、ルーマニアの民俗楽器である。ゲオルゲ・ザンフィールにより、この楽器が広く世界に知られるようになった。

4. 参考文献

International Panflute Master Class

<https://www.panflutemasterclass.ro/> (アクセス日 2020年1月19日)

Every summer since 2016, the International Panflute Master Class by Gheorghe Zamfir Student is held at the Astra Museum in Sibiu, Romania. The event was held for 7 days from July 28 to August 3 in 2019, and on the last day of the master class, a pan flute concert was held at the Astra Museum. Thirty students from eight countries, including Romania, Switzerland, the Netherlands, Greece, the Czech Republic, Poland, Jordan, and Japan participated. This report records what this anchor has seen, heard, and experienced in the master class in 2017 and 2019.

(本学附属民族音楽研究所講師 パンフルート)